

インターネット社会の落とし穴 アリ病とインターネットの陰湿な関係

有永助教授によれば「インターネットにより感染が拡大している」という。

インターネット上では、ここ数年でアリに関するホームページが急激に増加している。10を越える個人サイト、2チャンネルという会話サイト、そしてデータベースという巨大サイトまで存在する。そして、取材を続けて驚くべきことが発覚した。何と！アリが売買されているのである。

インターネットにアリのホームページを開設している2人の大学院生のはなし

JKさん(27才)

私の場合、生物学的研究活動部分とインターネットという遊び部分との結合です。だから病気ではありません。これを病気といたら、世界中の研究者や科学者はすべ

て病気でしょう。

ANさん(26才)

病気ということはないです。ねえ。アリは小学生の頃から続いています。アリを見ていると癒されますから、ぼくにとつては薬ですねえ。

アリ販売業者・安東室武(仮名)さんのはなし

アリは採集して売っていいです。虫好きの人へのサービスです。ね。交通費や飼育道具の経費を考えると採算は全く合いません。購入者も採集に行く費用を考えたら高くないでしょう。実際、買う人が多数いるわけですから。そうですね、始めて5年目です。けど年々購入者は増えています。ごくごく普通種です。乱獲や自然破壊にはなりませんよ。地域種の移動が騒がれていますが、飼って

増やせるほどアリの飼育は簡単ではありませんよ。アルゼンチンアリを輸入して売っ

恐怖!! 一匹のアリを拾っただけで

ているわけではありませんからね。そこそこ、よろしく

何と！一匹のアリを拾っただけでアリ病に感染するということのだ。現在は一、〇〇〇匹を越えるアリの飼育する。吾下さんは言う「家の近所で拾ったんですよ。でかいなーと思ってインターネットで調べたんです。アリのしいし、飼えるようなので、早速、試してみたんです」。多くの人は同様のパターンで感染するようだ。生物学界にも詳しい大学院生JKさんは「7、8年前にデータベースが公開されました。画期的でした。インターネット上でアリの名前が調べられるなんてね。今ではサイトも増えて何でも調べられる感があるインターネットですが、研究者も使える凶鑑類はほかにありませんね」。安武所

長は「アリの飼育といえば夏休みの自由研究で小学生のものでした。アリ研究者が書いた飼育解説書も児童書が多いですね。データベースの付録的に飼育方法が載っている。これがワンポイント。でも何と言っても、個人のホームページですね。多数の飼育者が自分のホームページ上で飼育方法を公開しています。そのBSで初心者が直接飼育方法を聞けることが最大ポイントでしょう」と語る。10年以上飼っている大学院生ANさんは「飼うこと自体は簡単です。でも何年も継続してアリの数を増やしていくのは難しいですねえ。アリは種類が多いし、大きさも様々で、餌も多様ですからねえ。